

# 韓国KERISの総合目録システム UNICATの紹介

学術コンテンツ課  
CAT/ILL担当 高橋菜奈子  
2012年3月7日

# 韓国の目録作成の概況

- 国立中央図書館(NLK) → KORMARCを作成
- 公立図書館はNLKのKORIS-NETに参加
  - KOLIS-NETからダウンロードする形である。
- 大学図書館はKERISの書誌ユーテリティーに参加
  - KERISの総合目録サービス目的
    - 学術情報資源流通のための基盤造成
    - 共同目録作成作業を通じて目録作成作業に必要とされる資源を節減

# KERIS総合目録現況

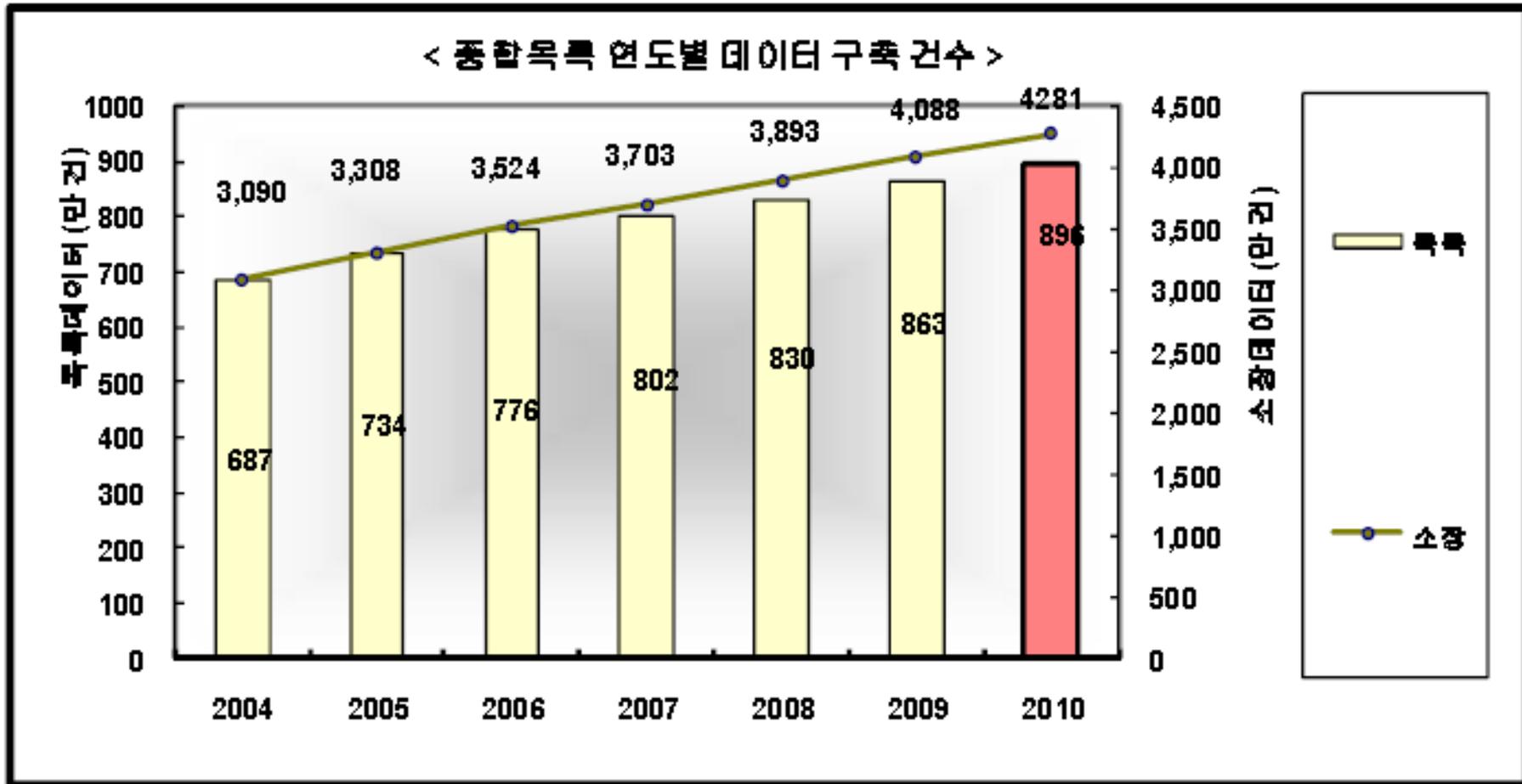
- 総合目録データベース構築現況(2011.5月末現在)

総合目録		海外参照		会員機関
書誌	所蔵	書誌	典拠	665 図書館
912万件	4,373万件	1,196万件	871万件	

- 2011年度総合目録サービス利用現況(2011.5月末現在)

新規書誌追加	所蔵追加	検索	ダウンロード
3万件/月	18万件/月	47万件/月	7万/月

# 年度別総合目録データ件数



# KERIS総合目録・年表

- 1997.07 総合目録データベース構築着手、共同目録システム(UNICAT)開発着手
- 1998.05 初期総合目録データベース構築完了、UNICAT 1.0開発完了、オンライン共同目録サービス運営着手。OCLCオンライン検索代行サービス着手
- 1998.12 単行本共同目録作成用入力指針開発
- 1999.12 総合目録データベース整備作業完了。200万件重複および誤りデータ除去
- 2000.07 総合目録サービス会員制導入、UNICAT 3.4配布
- 2002.03 UNICAT. 5.0配布、サーバー性能改善および重複および誤りデータ除去
- 2003.04 KERIS総合目録入力指針(単行本)作成・配布
- 2005.12 UNICAT 7.0配布(ユニコード基盤に転換)およびWeb UNICATサービス提供  
日本NII書誌MARCダウンロード提供(Web UNICAT )
- 2006.11 中国CALIS書誌情報検索提供(Web UNICAT)
- 2007.04 国内単行本新刊図書目録書誌情報サービス実施06統合MARC反映総合目録入力指針(単行本)改正ボン オンライン配布
- 2008.03 統合MARC反映総合目録入力指針改正ボン オンライン配布
- 2008.10 総合目録機関会員チャンネル別途ホームページ改編
- 2009.07 総合目録データ統合書誌用KORMARC形式適用
- 2009.08 総合目録所蔵情報4,000万件構築

# KERIS総合目録会員区分

図書館区分		か 会員	な 会員	た 会員
DB構築	オンライン	書誌構築 所蔵追加	所蔵追加	
	バッチ	所蔵追加		
順守事項		オンライン協同編目レコードアップロードおよびバッチ送付指針順守		検索のみ利用
区分別会員数		173館	139館	362館

- 総合目録検索およびダウンロードは会員図書館に限って会員区分と関係なく共通で利用することができる
- か会員は、書誌データ品質維持のために加入時サンプルデータを提供されて分析してMARCデータ入力指針を遵守してデータの品質が優秀なことが判明したら承認される。

# KERIS総合目録作成内容

区分	新規	所蔵追加	所蔵削除	書誌修正	書誌統合
作業目的	タウンロードし、時間で活用するための作業		総合目録データの質を高めるための作業		
検証可否	検証後、総合目録に反映	無検証(システム処理)		検証後、総合目録に反映	

- 書誌に関する操作はすべてKERIS側で検証する
  - 検証数:新規書誌は年間30万件、重複書誌なども含めると200万件
  - 運営チーム:6人体制(外部委託)
- Web UNICATには新規作成機能はない

# KERIS綜合目錄システム概要

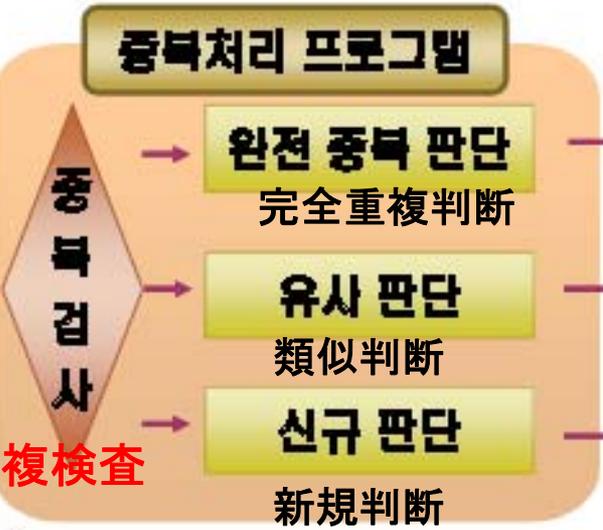
重複処理プログラム

KERIS綜合目錄

要請目錄DB



중복처리 프로그램



重複檢査

檢証



중복레코드 존재  
重複レコード有

중복레코드 비존재  
重複レコード無

KERIS 종합목록

既存レコードに所蔵追加

기존 레코드에 소장정보 추가

신규 레코드 추가

新規レコード追加

종합목록 DB

綜合目錄DB

해외참조 DB  
海外参照DB

[국내 미소장 자료의 목록 레코드]



海外關係機關

目錄レコードダウンロード  
목록레코드 다운로드

업로드  
업로드



會員図書館

# 目録のフォーマット=KORMARC

- MARC21形式とほぼ同等
  - 東洋書を含んでいるため、拡張。
- 統合書誌用KORMARC
  - 2009年に資料種別のKORMARCから統合書誌用KORMARCという形式への変更があった。
  - KERISは両方サポート

# 総合目録への 統合書誌用KORMARC形式の適用

会員図書館  
(既存資料類型別  
KORMARC利用)

KERISの変換プログラム



会員図書館  
(統合書誌用KORMARC利用)

KERISの総合目録DB  
統合書誌用KORMARC形式

# KERISのクライアント

- 目録レコードはダウンロードして利用
- UNICAT
  - 共同目録システムのプログラム ダウンロード可
- Web UNICAT
  - Webでの提供開始(2005～)
  - NII検索、CALIS検索はWeb UNICATだけで可能
- 図書館システム
  - Z39.50で接続

KSC 5601対応	Maestro, SLIMA, VOLCANO, VINTAGE, XMLAS, WINLIS, Sky.net, Sky Blue, ODIS
UNICODE 対応	SOLARS DLi II, SOLARS III, SLIMA-NET, Tulip, ODIS-U, ALEPH

# 参照MARC

- OCLC
  - 利用法: 参照DB。毎日ローカルダウンロードしている。
  - 契約の条件: 利用可能な機関は20機関+KERIS
    - 20機関以外が利用したい場合、代行検索を頼む
    - ダウンロード数に上限あり
- 出版流通振興院
  - 国内出版社の団体から、新刊流通データを購入。
  - ほとんどの韓国国内の新刊書籍について目録・目次データを網羅。
  - フォーマットは異なるが図書館からの要望が強い。
- NACSIS-CAT
  - Z39.50で接続 → 検索専用サーバを参照
- CALIS
  - Z39.50で接続

# WebUNICATからのNII検索

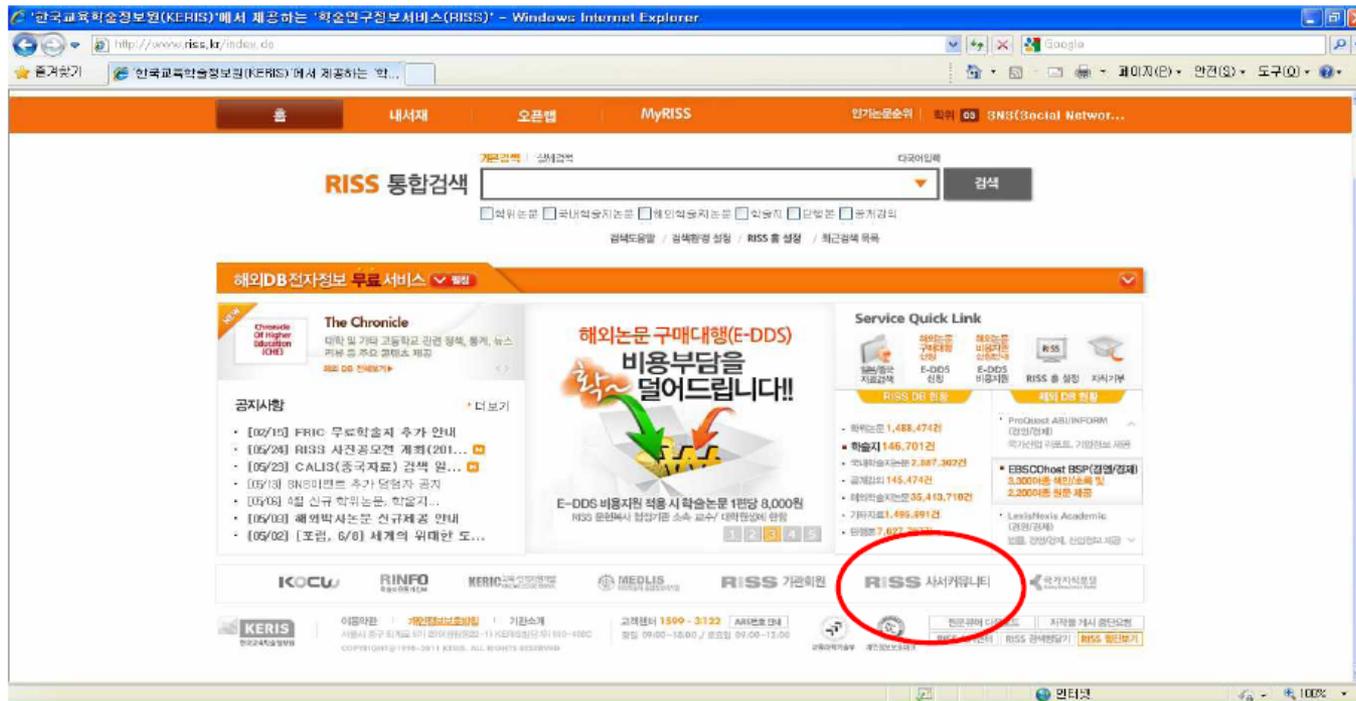
## □ NII 검색

The screenshot displays the WebUNICAT search interface. The 'NII 검색' tab is highlighted with a red circle. Below the search bar, there are several tabs: '일반검색', '상세검색', '제어번호검색', '전기검색', 'NII검색', and 'CALIS검색'. The 'NII 검색' tab is selected. The search results are displayed in a table with columns for '번호' (Number) and '내용' (Content). The table contains 10 rows of search results, including titles like '同和歳時百景' and '처음 만나는 영작동화'. The 'MARC 보기' (View MARC) button is visible at the bottom of the results table.

번호	내용
<input type="checkbox"/> 1	同和歳時百景 (1997-1)
<input type="checkbox"/> 2	처음 만나는 영작동화 (1997-1)
<input type="checkbox"/> 3	韓國宗廟遺蹟 (1997-1)
<input type="checkbox"/> 4	말고 푸른 밤 외 (1997-1)
<input type="checkbox"/> 5	기막힌 진실과 상상 속의
<input type="checkbox"/> 6	문해본문 (대문도서편)
<input type="checkbox"/> 7	좁은안 얼굴을 휘잡는
<input type="checkbox"/> 8	천년 외 11권 ; 2권호 인
<input type="checkbox"/> 9	국어사적 문화 현상과 문
<input type="checkbox"/> 10	康煥詩 1권호 (1997-1)

- 現在, KERISからはZ39.50でNACSIS-CAT検索可能。

# 目録データの検索サービス (RISS)



- RISS (<http://www.riss.kr/index.do>) からの利用
  - 学位論文、国内学術誌論文、海外学術誌論文、学術誌、単行本、公開講義が検索できる検索ポータル
  - UNICATのデータは単行本のメニューで検索

# まとめ

## 日韓書誌ユーティリティー比較

- 書誌ユーティリティーの機能は相似
  - － 大学図書館による共同構築
  - － 図書館システムと連携
  - － ファイルの構成(参照ファイル)
- KERISとNACISISはどこが違うのか
  - － 参加館にレベル別区分がある。
  - － 書誌品質はKERIS側ですべて検証
  - － 新刊流通データの活用
  - － フォーマットは国内で統一されたKORMARC

分散に見せかけた集中管理方式？